

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-220208 (P2003-220208A)  
 【公開日】平成 15 年 8 月 5 日 (2003.8.5)  
 【出願番号】特願 2003-5256 (P2003-5256)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 4

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域に、前記遊技球が転動可能な転動遊技領域を有する遊技部材を備え、

前記転動遊技領域には、左右方向へ並行して延在する手前側の第 1 転動部と奥側の第 2 転動部とが設けられるとともに、

前記第 1 転動部及び第 2 転動部の左右方向における両端部の少なくとも一方において、前記第 1 転動部から第 2 転動部へと遊技球を誘導可能な補助転動部が前記両転動部に連通するように設けられ、

前記第 1 転動部は、その左右方向の略中央部が両端部より低い湾曲形状に構成され、

少なくとも前記第 1 転動部の左右方向の略中央部が前記第 2 転動部の左右方向の略中央部より低くなるよう構成され、

前記補助転動部が連設される前記第 1 転動部の端部の高さが、前記補助転動部の連設される前記第 2 転動部の端部の高さ以上となるよう構成され、

前記補助転動部は、

前記第 1 転動部と通じる入口部と前記第 2 転動部と通じる出口部とが同じ方向を向くように構成されるときともに、その底面部の少なくとも一部が前記第 1 転動部から前記第 2 転動部に向かって下方へ傾斜するよう構成され、

当該補助転動部の上流側の一側壁部として構成され、前記第 1 転動部から当該補助転動部へ転動してくる遊技球に対して、その転動方向に奥方向への変化を加えるよう、当該一側壁部の壁面が前記転動してくる遊技球の進路を狭めていくように左右方向に対して傾斜するよう構成された作用部と、

前記作用部より下流側における当該補助転動部の一側壁部として構成されるときともに、当該一側壁部の壁面が、前記第 1 転動部を転動してくる遊技球の転動方向と相対向する方向を向くよう構成され、当該転動方向への遊技球の動きを規制する規制部と、

前記規制部より下流側における当該補助転動部の一側壁部として構成され、前記作用部によって転動方向が変化した遊技球を前記第 2 転動部へ誘導する誘導部とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記転動遊技領域には、前記規制部と相対向するように跳返り防止部が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 転動部の左右方向の少なくとも一端部又はその近傍へ前記遊技球を案内する少なくとも 1 つの案内手段が設けられるとともに、

前記一端部又はその近傍へ案内される遊技球が他端部側にある前記補助転動部へ向かって転動するように、前記第 1 転動部には特定転動面が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技部材は、識別情報を変動表示可能な可変表示装置の周囲を囲むセンターフレームによって構成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。